

# 振興対策などで論議



## 12月定例町議会（一般質問）

### 国保財政

**問** ①全国的な経済不況の中、当町では二年連続して国保税率の引き上げを行なったが、これによって更に未納額が増えてしまっているのか。②国保財政が大変厳しい状況となっているが、来年度の予算編成に当たっては、一般財源からの繰入れをして負担の軽減を図るべきではないのか。

**答** ①国民健康保険税制度は、国民皆保険制度の基盤をなす制度として、今日では重要な役割を担っているが、高齢化の進展など構造的な問題に加え、保険給付費や老人保健拠出金への繰り出し等が年々伸びており、これらが国保会計を大きく圧迫しているのが実態のようである。当町では、これまでも加入者のみなさんにできるだけ負担をかけるまいという考えで、基金の取崩し等を行ないながら財源確保に努めてきたところである。しかしながら、多いときで三億五千万円程度あった基金の保有額が、平成9年度末では二億二千万円台となつてしまい、このまま財源不足を全て基金で賄うということは、将来的なことを考えると好ましくないとと思われる。そこで、運営協議会等にご検討をいただいた結果、所

得割で0.5%の税率アップをしたところであるが、当町の国保税率は、個人別の税率では、山武郡内では、松尾町に次いで二番目に低い税率となっており、世帯別では郡内で最も低い率になっている。町では、未納町税の滞納整理を行なうため、平成十年一月に、町税収納特別対策本部を設置し、税務課を中心として各課の課長や主幹、課長補佐に協力してもらいながら収納に当たっているところでもあるが、

今後も収納体制をしつかりと確立させ、未納額が増えないよう努力していくつもりである。②他の自治体の中には、国保会計の赤字補てんのために一般会計からの繰入れを行なっている市町村もあるようだが、特別会計の目的からすれば、独立採算制で運営していくのが最も望ましいことだと考えており、当町では、しばらくの間は一般会計からの繰入れについては見合わせるつもりである。今後も保健指導等を行ないながら疾病の抑制に努め、国保会計の健全化を図ってまいりたいと考えている。

### 福祉行政

**問** ①母子家庭や父子家庭の福祉の向上を図ることを目的に、母子・父子家庭等医療費等の助成制度があるが、この制度を利

用して助成金を受けるには、手続きが非常に面倒で、その手間を考えると申請をあきらめてしまう者さえあると聞く。申請手続きの簡素化はできないのか。②乳幼児医療の助成についても同じようなことが言えるがその対策は。

**答** ①この制度は、母子家庭や父子家庭等に対し、医療費などの一部を助成することで母子家庭・父子家庭の福祉の向上を図ることを目的としており、補助の対象となつている世帯は、現在町全体で93世帯である。補助については、県と町が二分の1ずつを行なっており、病院にかかった時ごとに申請書を提出してもらつたことになつている。町では現在、申請書を取りに役場に何回も来ていただく手間を省くため、一度に5枚ほどの申請用紙を手渡し、その後は本人がそれを持って、診療後に直接病院で書き込んでもらうようにしているが、今後も内部でよく検討し、添付書類等、町が確認するだけで済むものであれば省略していくなど、手続き上の簡素化を更に図つてまいりたい。②乳幼児医療対策事業は、乳児や幼児の医療に要する費用の一部を給付し、保護者の経済的負担の軽減を図ろうとするもので、対象は、生後一歳に満たない乳児と満一歳から小学校就学前の

### 交通安全対策

幼児である。乳児については、入院、通院とも対象となり、幼児については、七日以上の入院が対象となる。手続きに要する申請書等については、県の取扱い要領に準じているところであるが、この制度についても、できるかぎり申請書類等の簡素化を図つてまいりたいと考えている。

**問** ①横芝駅前交差点は、変形交差点であり、また、歩道も狭く混雑時には非常に危険の伴う交差点となつている。早期に改良が必要と思われるが町の考えは。②この交差点から駅前広場までの間には、視力障害者用の点字ブロックがあるが、駅前広場前で途切れており、目の不自由な方は駅舎にたどりつくまで大変危険である。何らかの安全対策を考えてもらいたい。

**答** ①駅前交差点については、朝夕は通勤・通学による歩行者及び自転車、自動車等が大変混雑しているところであり、更に、歩行者用の青信号の時間が非常に短く、交差点の中で歩行者と車のトラブルもいくつか発生しているようである。本来であれば交差点全体を改良しながら歩道等をきちんと整備していくのがよい方法だと思うが、周辺は